

ご担当者様

私は、性と生殖に関するヘルスケア(FSRH)国際委員会の委員長として、日本における緊急避妊へのアクセス改善を支援するために、本レターを書いております。FSRHは、緊急避妊は、性と生殖に関するヘルスケアに必要な不可欠なもので、かつ、18歳未満を含む個人には、必要な時に必要な場所で、ハラスメントやスティグマを受けることなく、無料の緊急避妊薬に完全にアクセスできる必要があると考えています。これは、英国における緊急避妊に関する私たちの見解に反映されています。

<https://www.fsrh.org/policy-and-media/fsrh-position-statements/fsrh-position-on-emergency-contraception/>

COVID-19 パンデミック下における性と生殖に関するヘルスケアへのアクセスに関する RCOG との共同声明で、FSRH は、人々の性と生殖に関する健康と権利に対する COVID-19 に関連するリスクを緩和するために、すべての政府に対し、「オンライン診療の承認および緊急避妊の処方箋を求めない OTC 化を通じて、緊急避妊を含む避妊へのアクセスを確保する」ように求めています。

<https://www.fsrh.org/policy-and-media/fsrh-position-statements/fsrh-rcog-position-statement-international-srhr-covid19/>

以上の理由から、私たちは緊急避妊薬へのアクセスを改善するためのピルコンの提案をサポートします。

敬具

ニッキー・モーガン博士

国際委員会委員長

FSRH

日本語訳: 福田和子